



学校だより

おらほの名足

南三陸町立名足小学校

令和3年1月8日 No.11

南三陸町歌津字中山14番地

TEL0226-36-2009 FAX0226-36-3881

あけましておめでとうございます

例年より短い11日間の冬休みも終わり、3学期がスタートしました。久しぶりに友達や先生と顔を合わせ、少し緊張した面持ちで始業式に臨む子供たち。真剣なまなざしで、話を聞く姿勢は大変立派で、学年がまとめるにもしっかり取り組もうという意気込みを感じる。この年末年始に家庭で充実した生活を送ることができたおかげと感謝申し上げます。

さて、首都圏では「緊急事態宣言」が発令されましたが、当地域においては、これまでの感染対策が功を奏し、感染者が確認されておりません。しかしながら、全国的な感染拡大を鑑みますと、予断を許さない状況となっております。今後も3密を避け、アルコール消毒、手洗い等の徹底に心掛けていきますので、御家庭でもこれまで同様に感染対策の励行とともに、毎日のマチコミメールへの検温入力の御協力をお願いいたします。子供たちが充実した学校生活を送れるよう、職員一同力を合わせ指導して参りますので、今学期もどうぞよろしくお願いいたします。



【新しい目標に向かって！！】



始業式では、校長先生から3学期がまとめの学期であり、6年生は50日、1～5年生は53日であること、この短い3学期の一日一日を充実させることが大切であり、どうすればよいかについて話されました。

それぞれが決めた目標を達成するために、まず、「何を、いつ、どのように」頑張るかをはっきりさせることが大切であることを説明されました。今年丑年、牛はゆっくりでのんびりしたイメージがあるが、丈夫で力強く、ゆっくり確実に働くからこそ、確かな仕事ができ、昔から農耕において人々の生活を支えてきたことを挙げて、成果を急がず「牛歩」の歩みで取り組んでほしいと話されました。その際、子供たちには、2年生の心大朗さんが2学期の終業式で発表した、「一輪車ができるようになるまであきらめずに繰り返し練習に取り組んだこと、少しでもできるようになったらまた練習を重ね、もっともっとできるように努力し続けたこと、そして何周でも乗りこなせるようになった。」話を例に、「苦手なことに近道はなし」ゆっくりでもしっかりと自分の目標に向かって取り組んでほしいと話されました。

また、子供たちは、春に学年、学校が変わる大きな節目を迎えます。上の学年の姿を見て、その姿勢、形と共に思いを引き継ぎ、名足小学校の伝統を継承して行ってほしいことも話されました。全校児童が校長先生の話聞く姿勢から、「こころ」でしっかりと受け止めながら聞いていたことが伺え、新たな自分の目標へ向かって頑張っていこうという思いが伝わってきました。

【今年ももち米が届きました。ありがとうございます】

鹿児島県いちき串木野市
木場迫公民館ふれあい農園 池田 幹男 様 より

「もち米」を頂戴いたしました。

令和2年12月21日に「もち米」45kgの御支援と共に市来小・中学生からの手紙も届きました。震災以降、10年に渡って御支援いただきました。東日本大震災から10年目の節目を迎えるにあたって本年度をもってこの支援事業を終了する予定とのことです。長きに渡って、当地域に思いを寄せ御支援いただいていたことに感謝しながら、「もち米」をおいしくいただきたいと思っております。ありがとうございました。

